



支援は御「縁」から「始」まります。私たち4人の支援専門員が「縁」あって支援をさせていただくことから「支援→始縁だより」と名づけました。

# 始縁だより

発行 平成26年10月号

今年の夏は、1日中晴れていた日が何日あったでしょうか？

農作物にも相当な被害が出ています。農家の人は、種をまいては雨にたたくれ芽が出ない、野菜ができない。山の方では猿や猪の被害にあい、スイカやカボチャは収穫ゼロ、サツマイモも根こそぎ引き抜かれて収穫ゼロと嘆かれていました。

嘆きはまだ、どこの店でも野菜が高い!! 先日、久万高原町の道の駅では、高知から人が野菜を求めて買い物に来ていました。日本列島、水の被害を受けたこの夏でしたが、皆様はどう過ごされましたか？ 訪問の時に聞かせてください。

## 「サービスが利用できない日をどうしのぐ!？」

国道33号線の越知町横倉～仁淀川町森山、森山～久万高原町間は、連続雨量250mmで通行止めとなります。山間部の道路でも落石や土砂崩れ等により、一時通れなくなることがあります。その地域に関係する利用者は、デイサービスや通所リハビリが迎えに行けない、事業所が休みになる場合もあります。また、このような時にはヘルパーも訪問ができないことがあります。

通所、ヘルパーの支援が受けられなくなると、食事や服薬、排泄介助などができないうえ、安否の確認もできず、生活に困ることがあります。できるだけ事前に台風情報などで判断し、ヘルパーの訪問時間や日程の調整、ショートステイなどの利用を調整して生活への影響が少なくなるように努めています。しかし、通所支援や訪問支援が利用できない日が、数日間に及ぶとその影響はより深刻になってきます。

そのためにサービスが利用できない日をどうしのぐか？まだまだ台風が来るかもしれません。備えあれば憂いなしですが、日頃から近隣の人に見守りをお願いしておく、避難先を考えておくなど、できる対策を考えておくことが大切です。この機会にご家族で話し合っておきましょう。

介護のことで一人で悩んだり、判断をせずに私たちに相談をしてもらえるとうれしいです!!

## ～手をたずさえて～ (西森雑感)

9月1日は金婚式。一口に50年と言っても、本当に苦楽を共にしてきた50年だったと思います。ほほえましい夫婦の姿や、はにかんで手をつないでいる写真を拝見します。「いいな～50年 手をたずさえて生きてこられた証としての金婚式」

訪問時に「私たちはケンカばかりして生活している」と話をされるご夫婦がいます。「夫婦喧嘩は犬も食わぬ」という話もあるので、大いに喧嘩をしてくださいと助言して帰ってきます。

喧嘩ができる相手がいることが幸せよ。一人になったら・・・私も手をたずさえて50年を迎えたかったな。

